

【事例－12】

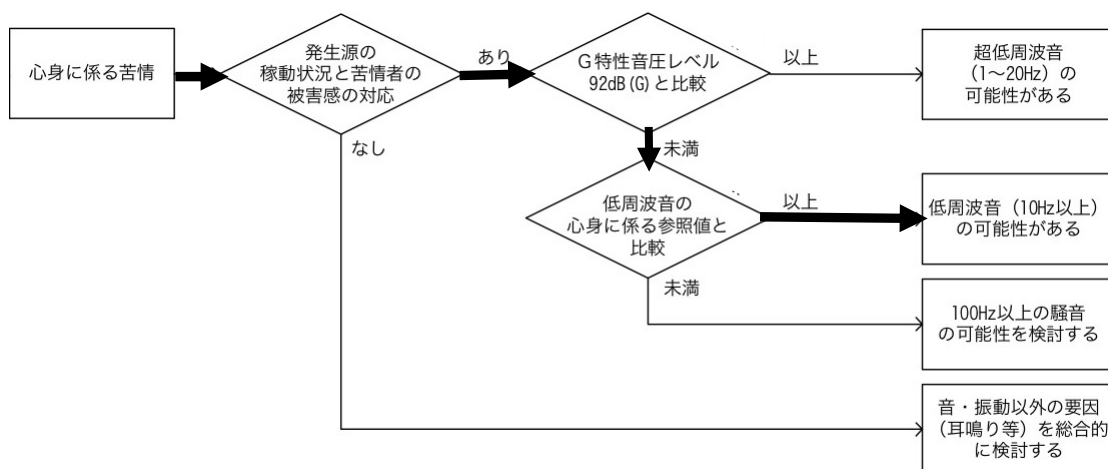
発生源 : 冷蔵庫内ファン
苦情内容 : 圧迫感を感じる
対策方法 : 苦情者側 2 台の施設の夜間停止

< 苦情対応の概要 >

寝室で、隣接する工場の音で圧迫感を感じるという訴えがあり、調査を行った。苦情者側の測定結果および苦情者の反応は発生源との対応関係があり、測定結果が心身苦情に係る参照値を 80Hz で 10dB 超えていた。工場側と協議の結果、苦情者側 2 台の施設を夜間停止することで解決した。

< 苦情対応の流れ >

低周波音問題の評価手順(心身に係る苦情)



<苦情対応>

申し立て内容 の把握

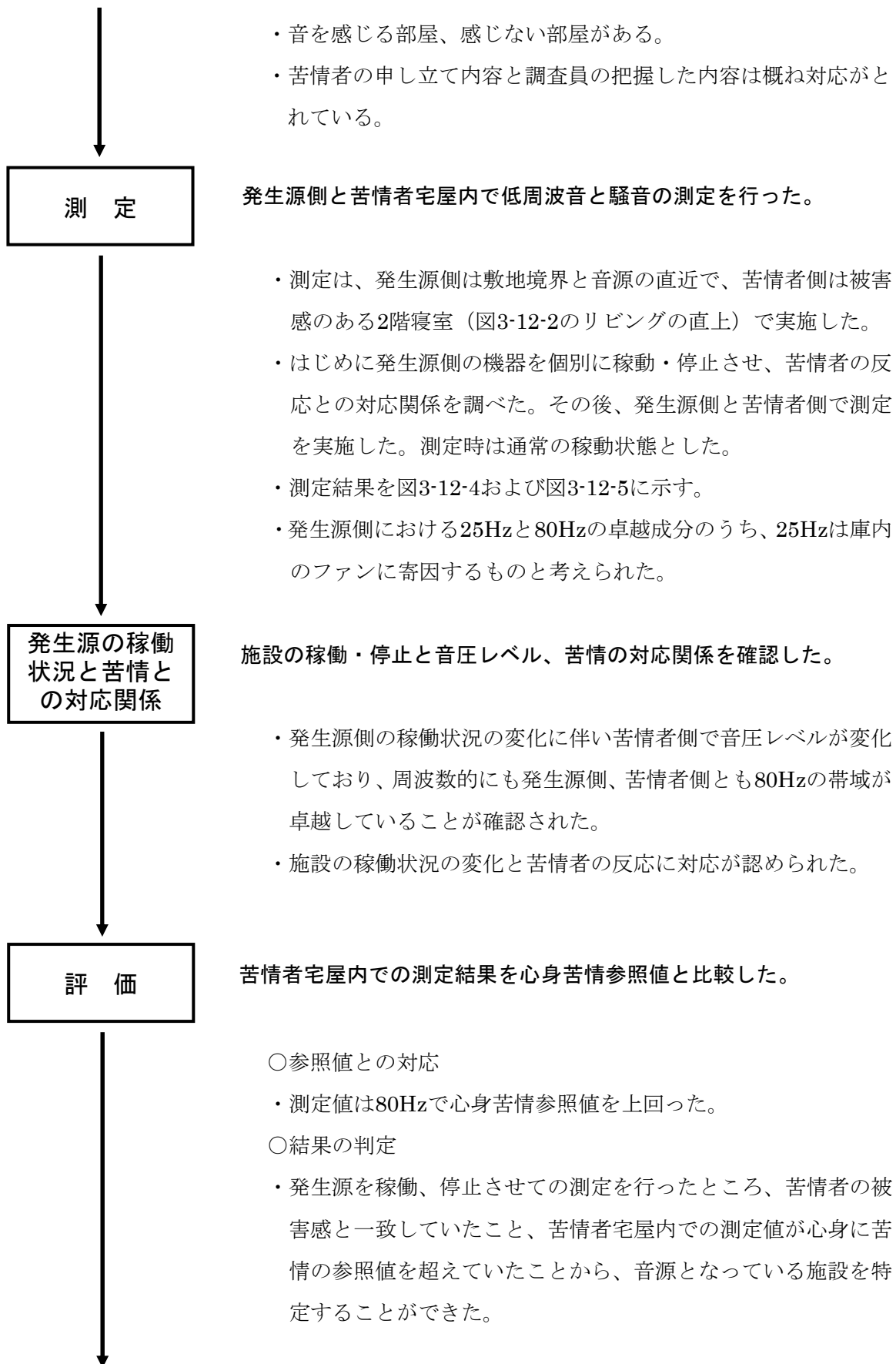
寝室で、隣接する工場の音で圧迫感を感じるという訴えが寄せられた。

- ・苦情者宅で苦情を申し立てている人数は2人で、苦情者宅以外に周辺で苦情を申し立てる家はない。
- ・家屋は2階建ての一戸建てで、居間および寝室で音を感じる。
- ・窓の開閉による聞こえ方に変化はない。
- ・部屋の中では壁際で強く感じる。
- ・問題となる音はブーンという唸るような連続的な音で、圧迫感がある。
- ・入居時（1ヶ月前から）以降問題が発生。
- ・当初推定される発生源は不明であったが、その後の調査で隣の青果倉庫に設置されている冷却ファンと判明した。

現場の確認

苦情者宅に出向き、再度聞き取りを行うとともに、発生源との位置関係・周辺の状況、発生源の状況、苦情者宅の状況を確認した。また、調査員自ら苦情者が申し立てる被害感を感じるかを確認した。

- 発生源側と苦情者宅の位置関係
 - ・両者の位置関係を図3-12-1に示す。
- 発生源の状況
 - ・発生源と推定される工場等には、冷蔵、冷凍ユニットが設置されている。
 - ・発生源と推定される施設の稼働時間と被害感が一致している。
- 苦情者への再度聞き取り結果
 - ・苦情者宅の部屋ごとの苦情の状況；発生源に近い部屋で被害感が大きい。また、部屋の中心部よりも隅のほうが聞こえる（感じる）とのことであった。
- 調査員の所感
 - ・問題とする音が聞こえる（感じる）が、圧迫感や振動感や違和感などの不快感はない。



対策の検討

測定結果をもとに、発生源側と対策方法を協議した。

- ・4台ある施設（図3-12-3参照）のうち、苦情者宅側に設置してある2台について、夜間停止してもらうこととした。なお、従業員による電源の切り忘れがないようタイマーを付けることで解決した。

対策の効果の確認

行っていない。

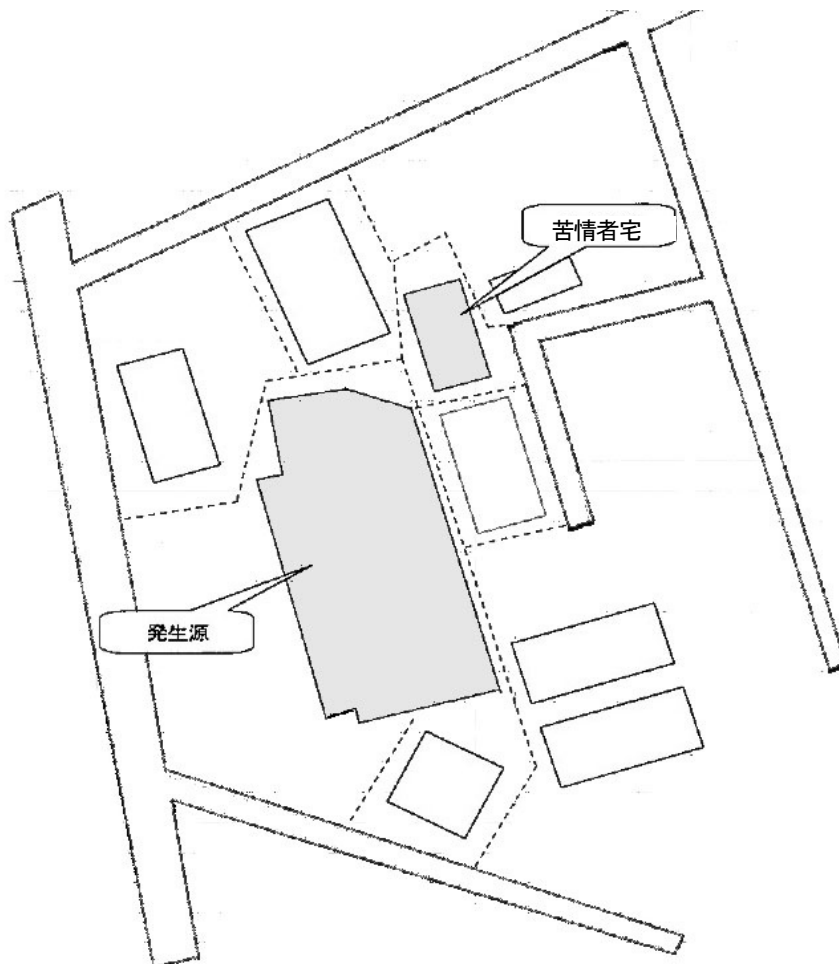


図 3-12-1 発生源側と苦情者宅の位置関係

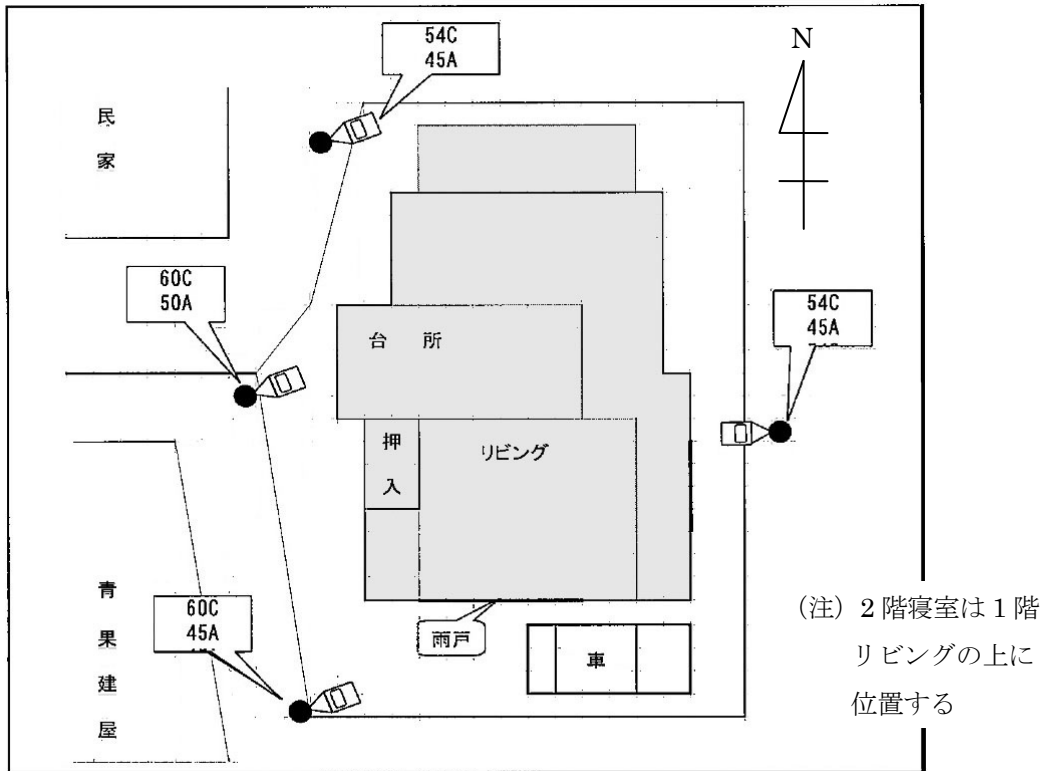


図 3-12-2 苦情者宅屋外で観測された騒音値

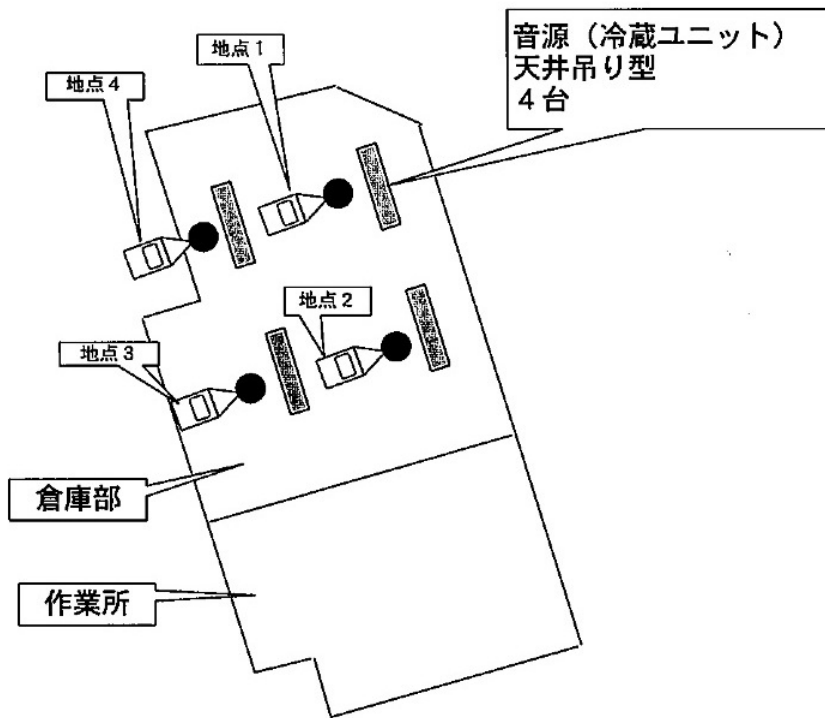


図 3-12-3 発生源側の施設配置と測定点配置

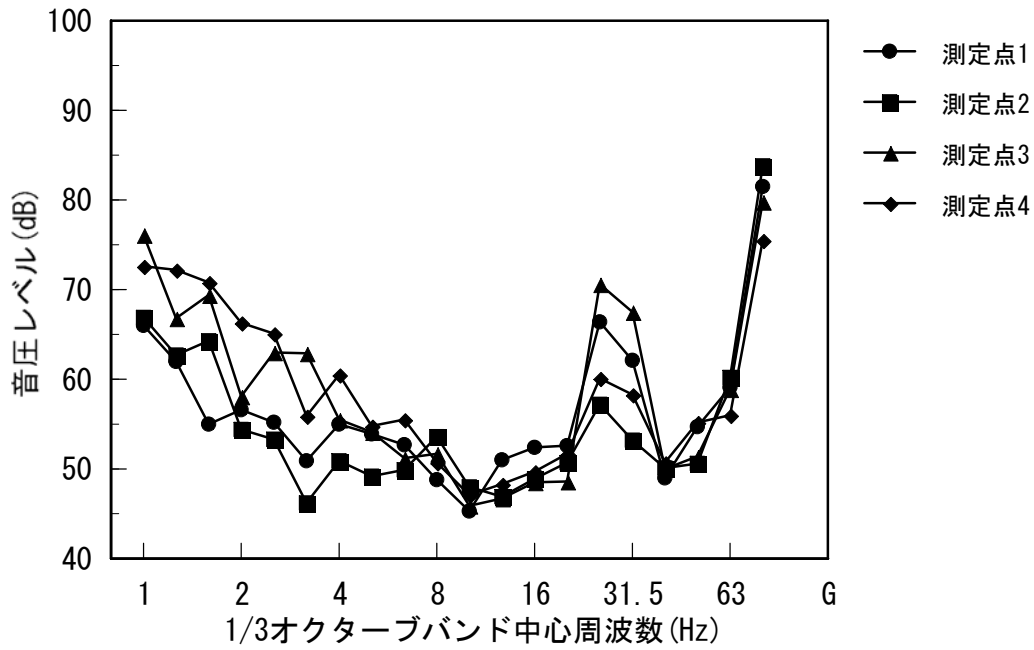


図3-12-4 低周波音の周波数特性（発生源側 H19.2.6）

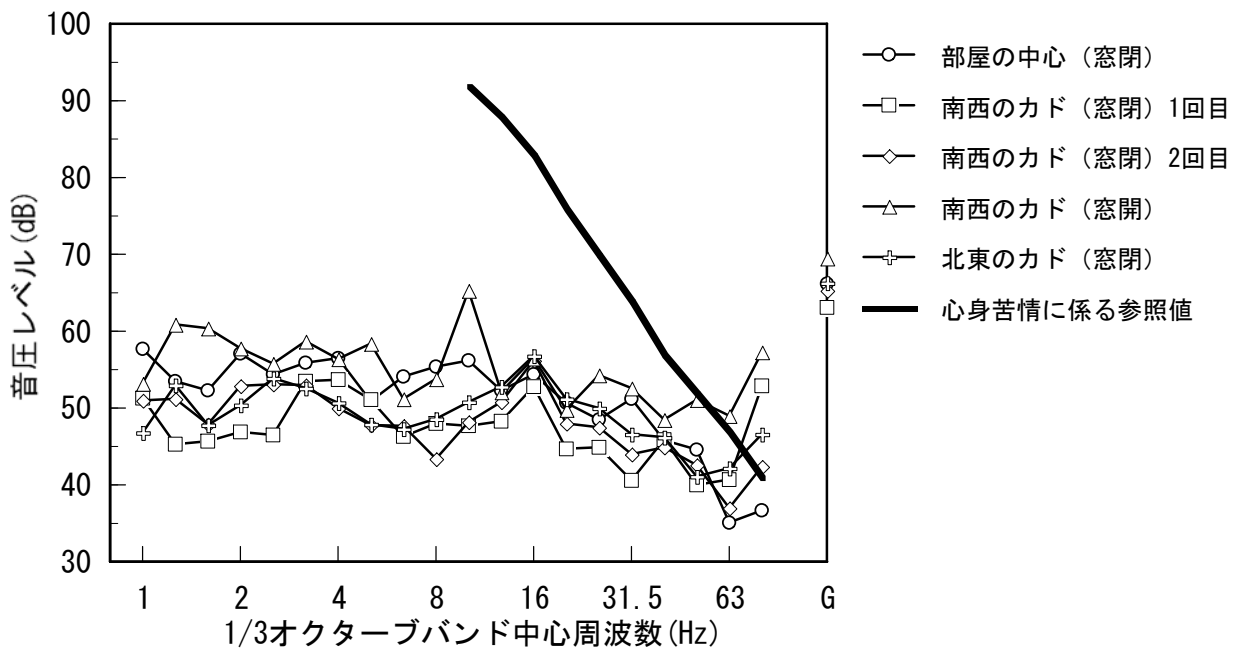


図3-12-5 低周波音の周波数特性（苦情者宅内2階寝室 H19.4.25）